

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
No. M-202	Year Month Day Time 2007 年 5 月 3 日 12 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A 山形商高	<table border="1"> <tr><td>22 1st</td><td>11</td></tr> <tr><td>16 2nd</td><td>20</td></tr> <tr><td>9 3rd</td><td>13</td></tr> <tr><td>14 4th</td><td>13</td></tr> <tr><td colspan="2">OT</td></tr> </table>	22 1st	11	16 2nd	20	9 3rd	13	14 4th	13	OT		チーム B 聖和学園高
22 1st	11											
16 2nd	20											
9 3rd	13											
14 4th	13											
OT												
61 ○		57 ●										

主審:Referee
米川 佳奈子 (秋田)
副審:Umpire
小野寺 浩 (秋田)
テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代一中 (男子)

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	阿部 愛美	CAP	12	2	3	0	1	4	×	佐々木 ゆみ	CAP	27	5	5	2	2
5	×	山川 華奈		7	1	2	0	1	5	×	永野 由香里		12	0	6	0	3
6	/	高橋 香織		4	0	2	0	0	6	×	板橋 友海		2	0	1	0	3
7	/	大沼 美咲		4	0	2	0	0	7	/	平間 美優		6	0	3	0	2
8		関川 咲		-	-	-	-	-	8	×	佐藤 恵美		2	0	1	0	2
9	×	武田 洋佳		4	0	2	0	1	9		佐藤 友美		-	-	-	-	-
10	×	佐藤 麻里子		2	0	1	0	0	10	×	高橋 智美		2	0	1	0	2
11		武田 小友香		-	-	-	-	-	11		関根 美穂		-	-	-	-	-
12		佐々木 ひとみ		-	-	-	-	-	12	/	内海 絵美香		6	0	3	0	1
13		大場 真央		-	-	-	-	-	13	/	早坂 妙江		0	0	0	0	0
14		佐藤 綾美		-	-	-	-	-	14		宮崎 あかね		-	-	-	-	-
15		吉田 彩奈		-	-	-	-	-	15		酒井 葉月		-	-	-	-	-
16		森川 千尋		-	-	-	-	-	16	/	佐々 満理奈		0	0	0	0	2
17	×	佐藤 綾香		13	2	3	1	0	17	/	藤原 沙也歌		0	0	0	0	0
18	/	加藤 千尋		15	1	5	2	0	18		安倍 笑子		-	-	-	-	-
コーチ		高橋 仁							コーチ		小野 安壮						
Aコーチ		吉田 佳代							Aコーチ		安野 努						
合計				61	6	20	3	3	合計				57	5	20	2	17

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

U-18日本代表候補の大沼を擁して、東北高校新人大会2連覇中の山形商業に対し、昨年の近畿IHでベスト8に入り東北の古豪復活を印象付けた聖和学園が能代カップの舞台に登場。注目の一戦となった。

第1Q両チームともにマンツーマンディフェンスでスタートする。山形商業が1年生ルーキー#17佐藤の連続ポイントで序盤のリズムを掴む。聖和学園は#5永野や#12安部が長身を生かしたプレイで応戦するが連続した攻撃にならず苦しい展開を強いられる。第1Qは22-11のダブルスコアで山形商業のリードで終える。

第2Qに入ると聖和学園がディフェンスのあたりを強め巻き返しを図る。#4佐々木が3Pを含めた連続7得点の活躍で一気に差を詰める。第2Q序盤に最大13点あった差が28-22の6点となったところで、流れを変えたい山形商業はタイムアウトを要求する。ここから両チームとも一進一退の攻防が続き、前半スコアを38-31山形商業7点のリードで終了する。

第3Qは両チームともメンバーをスターティングに戻して開始。後半のペースを掴んだのは聖和学園。#4佐々木を中心に速いパス回しからの攻撃とディフェンスの粘りで相手のミスを生かす。山形商業は#7大沼のアシストから#6高橋がゴールし、かろうじてリードを保つ展開。聖和学園が3点差まで詰めよるが47-44の山形商業リードで第3Qを終える。

最終第4Q、聖和学園は勢いを見せ#5のシュートと#4佐々木のドライブインで追いつき、一気に逆転に成功する。さらに#4佐々木の連続ゴールで差を広げる。この間山形商業は4分間ノーゴール。山形商業は#18、1年生の加藤が元気のいいプレーで得点し話されずに喰らいつく。聖和学園はディフェンスと#5永野#12安部のリバウンドの強さで突き放しにかかるが山形商業は#7大沼が上手さと強さを見せシーソーゲームの展開となる。残り1分、57-57の同点から、山形商業#17佐藤#18加藤が連続してゴールを決め、61-57でタイムアップ。山形商業は選手交代で疲労を抑え、最後は1年生コンビの活躍で勝利をものにした。